

科目名 (科目番号)	コーチング論Ⅱ (時間割参照)	教員名	向後和典	学科等	理学療法	選択	履修年次	1
	曜日・時限等			時間割表参照		単位数	1	
	授業形態			講義	オフィスアワー	月(昼休) A311研究室		
授業概要	スポーツ選手がパフォーマンスを最大限に発揮できるように、年齢や性差に応じたトレーニングの方法やコーチングの留意点について学習する。また、ハイパフォーマンススポーツ施策、トップアスリートを取り巻く諸問題についても学ぶ。							
目的・目標	対象に合わせたトレーニング、コーチングが行える。 我が国のハイパフォーマンススポーツ施策、さらにはトップアスリートを取り巻く諸問題について理解する。							
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。							
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容					
	1	コーチング環境の特徴	到達目標:発育発達期の身体的特徴について理解する。 学習内容:身長・骨格・体重の発育、スキヤモンの発育曲線、神経系の発達、神経・筋コントロール能力の発達、筋と筋力の発達、エネルギー代謝量と最大酸素摂取量の発達について学ぶ。					
	2	コーチング環境の特徴	到達目標:心理的発達の大まかな特徴を知り、運動が子どもの人格的発達に果たす役割とどのように指導すれば運動有能感を形成できるかを理解する。 学習内容:発育発達期の心理的特徴、運動と人格的発達について学ぶ。					
	3	コーチング環境の特徴	到達目標:子どもたちの体力・運動能力や運動習慣の現状を知り、ジュニア期のコーチングの留意点について理解する。 学習内容:子どもたちの体力・運動能力や幼児期運動指針、ジュニア期の指導で気を付けなければならないことについて学ぶ。					
	4	コーチング環境の特徴	到達目標:年齢区分からみたコーチングの留意点について理解する。 学習内容:トレーニングの至適年齢に応じた、プレ・ゴールデンエイジ、ゴールデンエイジ、中学生以降におけるトレーニングについて学ぶ。					
	5	コーチング環境の特徴	到達目標:中高年者へのコーチング(運動指導)の留意点について理解する。 学習内容:加齢に伴う変化、中高齢者に適した運動プログラムと留意点について学ぶ。					
	6	コーチング環境の特徴	到達目標:女性アスリートへのコーチングの留意点について理解する。 学習内容:女性アスリートに多い健康問題、性差に応じたトレーニングと留意点について学ぶ。					
	7	ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング	到達目標:我が国におけるハイパフォーマンススポーツの位置づけ、ハイパフォーマンススポーツの本質について理解する。 学習内容:我が国と諸外国におけるハイパフォーマンススポーツの位置づけ、ハイパフォーマンススポーツの本質について学ぶ。					
	8	ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング	到達目標:我が国におけるハイパフォーマンススポーツ施策、トップアスリートを取り巻く諸問題について理解する。 学習内容:アスリート育成パスウェイに関する取り組みの変遷、競技者を取り巻く環境と諸問題について学ぶ。					
成績評価の方法・基準	課題レポート(100%) ※対面・オンライン共通							
教科書	リファレンスブック コーチング概論	公益財団法人 日本スポーツ協会 尾縣 貢・広瀬 健一 編			公益財団法人 日本スポーツ協会 みらい			
参考図書								
教員からのメッセージ	授業内でグループディスカッションが行われることもあります、自分の考えをまとめて発表するには、それまでの授業内容を理解しておくことが大切です。 この授業は公認スポーツ指導者養成講習会共通科目になります。 オンライン授業に伴い授業計画に変更がある場合は、オンラインクラスで変更のシラバスを周知します。							